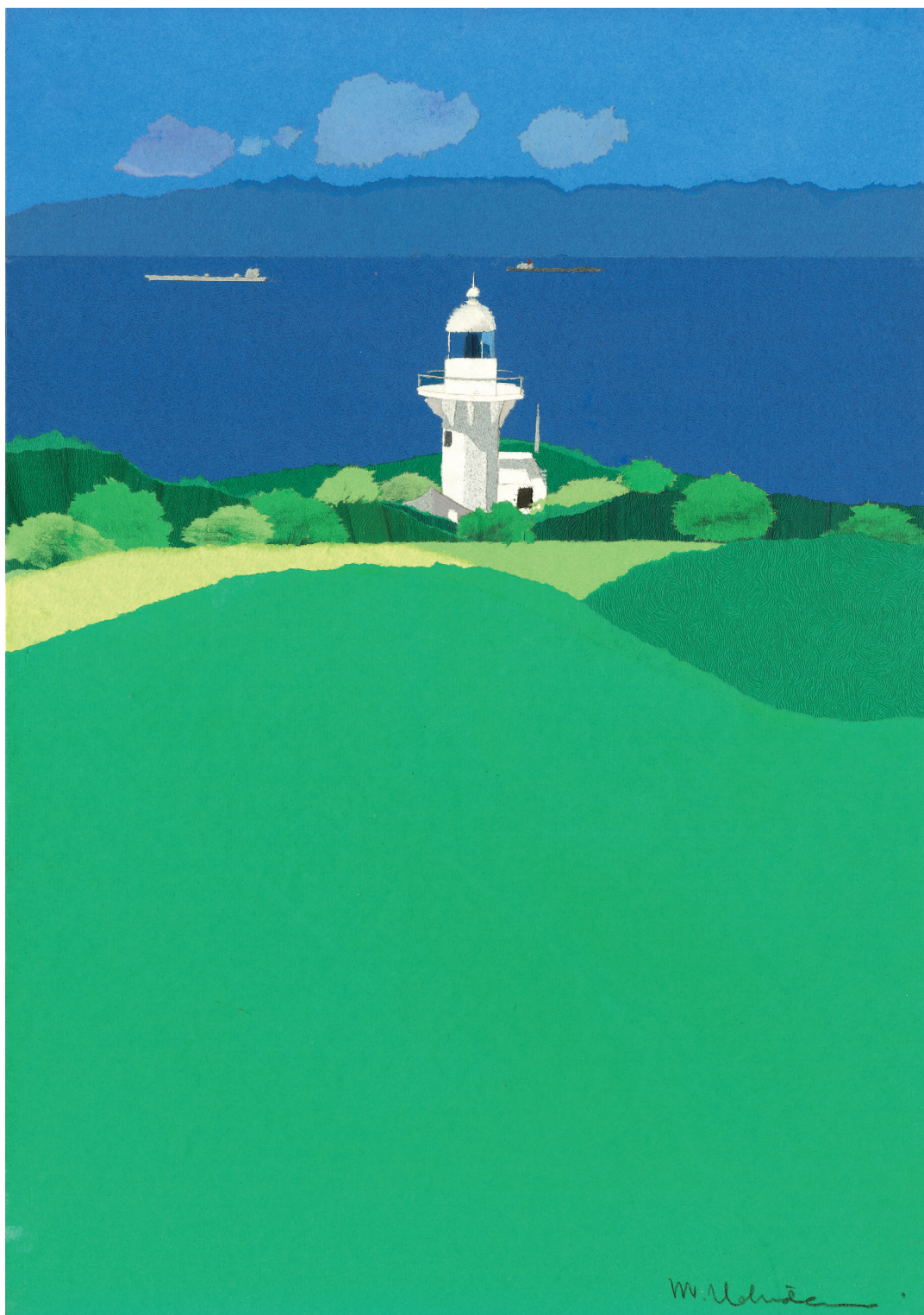


日本メックス株式会社

50<sup>th</sup>  
感謝と、これからの挑戦!



コーポレートレポート 2022  
Corporate Report

# より良い未来を、見据える

今日も、明日も、絶え間なく。日常とビジネスをインフラで支える。  
私たちは建物のスペシャリストとして、持続可能な未来の実現へと、日々挑戦する経営を続けています。

## 企業理念

### 建物とともに生きる

建物を知り、建物を大切にし、建物をいかすことにより、持続可能な社会の発展に貢献します。

## 経営方針

### お客様の期待を超える価値の提供

お客様によって異なる様々なご要望、ご期待を理解し、深掘りし、与えられた条件のもと知恵を絞って、期待を超える価値を提供します。

### 公正な企業風土と躍動感ある現場づくり

法令や社内規定を守り、適時かつ的確に情報を伝え、誠実で分け隔てが無い社内文化を醸成します。

また、日本メックスに関わる全ての従業員が元気で、明るく、意欲的に仕事に従事する魅力ある職場・現場をつくります。

### 未来を創る進化と革新

加速度的に変化する事業環境に対応しつつ会社の拡大発展を図るため、ビジネスや業務手法、個々人の能力の進化と、経営基盤や技術などの革新を弛まず進めます。

## 社名とコーポレートマーク

MECCSの頭文字「M」のイメージを基本として、社名に込められた企業姿勢をダイナミックに表現したものです。4つの丸は、頭文字以降の四文字を象徴し、会社が将来発展する可能性と、はつらつとした躍動感を軽やかに表現しています。

また、お客様へサービスする心、社会に貢献する心を、人のシルエットで表現しています。

M: MAINTENANCE  
E: ENGINEERING  
C: CONSULTATION  
C: CONSTRUCTION  
S: SERVICE



# 一人ひとりが、行動する

全員で考える。全員で挑戦する。私たちは高い知見と規範意識を誇りにしています。お客様や社会の声に応え、超えてゆくため、全ての従業員が、日々、力を結集します。

## 行動指針

### 私たちは「まじめ」を原点とします

社会に対し、お客様に対し、取引先に対し、会社に対し、そして自分に対して「まじめ」に取り組むことを行動の原点とします。

### 私たちは仲間を大切にします

当社の事業に関わる全ての取引先、グループ会社、従業員などの関係する「仲間」を大切にします。

### 私たちは挑戦しやり遂げます

従来からの慣例や常識にとらわれずに、技術やビジネスあるいは業務の変革に挑戦しつづけます。  
また、決めた仕事は責任をもってやり遂げます。

## 日本メックスグループ CSR基本方針

私たちは、企業理念「建物とともに生きる」に基づき、ステークホルダーの皆様との健全な関係を維持しながら、法令を遵守し、高い倫理感を持った事業活動を通じて、社会の課題解決と当社の成長を目指して、持続可能な社会の発展に貢献します。

### お客様に対して

お客様の要望に応える良質なサービスを提供し、お客様の安心・安全・快適な環境を実現します。  
また、品質マネジメントを推進して継続的な品質向上に取り組み、より高度なお客様満足の実現を目指します。

### 取引先に対して

関係法令の遵守、適正な契約の締結など、公正なルールに則った健全な取引を行い、取引先との相互の発展を目指します。

### 株主に対して

株主の利益のために、長期安定的な成長を通じた企業価値の向上を目指します。

### 従業員に対して

人権を守り、社員の多様性・人格・個性を尊重し、生き生きと安全かつ健全で働くことができる職場環境づくりに努めます。  
また、高度な知識と技術を持って能力を発揮し活躍できる人材の育成に取り組みます。

### 地球環境に対して

建物の長寿命化・省エネルギー化等の地球環境保護に資する事業活動を推進します。  
また、環境マネジメントを推進して、環境課題への的確な対応に取り組みます。

### 地域社会に対して

地域社会のより良い未来づくりのため、地域の健全な発展に資する活動に参加・協力し、良好な関係を築きます。

以上を推進するため、CSRマネジメント体制を確立し、適正な組織統治を実践します。

## 目次

03	トップメッセージ	11	日本メックスのCSR戦略
05	社会の要望に応える経営	13	CSRへの取り組み
07	社会の礎を支える事業	21	会社情報
09	価値創造の仕組みとオンリーワンの強み		

# 持続可能な社会、より良い未来の実現に、

今年も持続可能（サステナブル）な社会の実現に向けた、私たち日本メックスの取り組みを、当「コーポレートレポート」でお届けします。ステークホルダーの皆様と行動しました様々な成果をご紹介できることを、大変嬉しく思います。

## 社会課題の解決へ、激動する世界

現在の国内外の社会・環境情勢を鑑みると、企業に対し一層の貢献期待が高まっていることを、日々実感しています。環境面では気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の最新報告が4月に発表され、パリ協定のもと世界が推進する「気温上昇を1.5度に抑える」目標達成に向け、不動産・建築を含む幅広い業種でさらなるイノベーションが求められました。また同月に熊本県で開催された「アジア・太平洋水サミット」では、水資源の利用の適正化や災害に強いレジリエントなインフラ整備の必要性などが活発に協議され、日本政府も一層の行動を表明しました。

社会面に目を転じると、収束の気配が見えない新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対策や新たな生活様式への社会システムの適応が進むと同時に、女性をはじめ多様な人財の活用、柔軟な働き方の実現を促進する各種施策の整備が業種を問わず加速しています。世界規模での経済的停滞も契機とした資源問題や経済格差問題の深刻化も懸念視されます。

## 大きく加速を開始した、日本メックスのCSR活動

国連による最新のSDGs進捗報告でも上記の問題意識が共有されており、国や企業の枠を超えた行動・協働が一層重要となっています。このような中、日本メックスも、社会課題の解決へと、決意を新たに日々行動しています。具体的には、2021年4月に策定した、NTTグループとの連携を加速する新たなCSR戦略のもと、このたび新たに、詳細なCSR中長期目標とKPIを策定しました。関係部門と議論を行った結果、目標達成に向けた2022年度の指標も策定され、現在これに即したPDCAを包括的に開始しています。

同議論に並行し現場でのCSR活動も大きく進展しています。2021年度は特に、環境面では低・脱炭素戦略の推進、社会面では建物づくりへの先進技術の活用、ダイバーシティ推進室の設立などで、大きな進展がありました。当然ながら労働安全衛生の徹底もたゆまず実践した一年でした。これ



# 挑戦を加速する

らの成果は当レポートおよび別冊詳細版で開示するとともに、関連するSDGsへの一層の貢献も視野に、ステークホルダーの皆様との対話の推進ならびに社員一人ひとりの意識醸成を全社横断で実施しています。

## 創立50周年を迎え、「第2の創業期」に向かう

今年度は、もう一つ、大きな転機を迎えました。当社は1972（昭和47）年4月に創立して、今年50周年という記念すべき節目の年を迎えることができました。NTTグループの建物保全業務を円滑かつ効率的に実施しうる専門会社として創業して以来、様々な時代を超え、多くの課題に挑戦し、今や多彩な「建物」を通じ、社会へと浸透するに至りました。当社は50年を機に「第2の創業期」と位置づけ、一層社会に求められ、貢献するプロ集団となるべく、次代を担う人財の育成を柱に、未知なる領域にもチャレンジする所存です。具体的には2022年4月「ビジョン60」を策定し、「建物空間の未来をKYOSOするプロ集団」をスローガンとして、各種の革新施策をスタートしています。日本メックスはこれからも、「建物とともに生きる」を合言葉に、NTTファシリティーズグループの一員として、持続可能な社会、より良い未来の実現に向けて貢献していきたいと考えております。皆様には変わらぬご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

白井 賢



当社は1972年4月25日、日本電信電話公社の著しい発展に伴い、建築物の諸機能を十分に理解し、建物保全業務を円滑かつ効率的に実施しうる専門会社「株式会社日本総合メンテナンス」として設立。その後、1992年4月、創立20周年を機に、来るべき新時代の新世紀に向けてさらなる飛躍を願い、社名を現在の「日本メックス株式会社」に改めました。

2020年1月、NTTファシリティーズグループの一員となり、新たなステージを迎えた日本メックスですが、企業理念「建物とともに生きる」のもと、初心を忘れず、社会の発展と企業としての社会的責任を果たすべく、グループをあげて努めていきます。

## 会社沿革

### 1972年

「武蔵野電気通信研究所  
(現 NTT武蔵野研究開発センタ)簡易工事」受注  
(第1号)

### 1975年2月

「日本団体生命仙台ビル常駐保守」受注  
(民間第1号)

### 1978年10月16日

「東京中央電報局足場倒壊事故」発生

### 1986年

空調工事を初受注

### 1992年

創立20周年  
「日本メックス株式会社」に  
社名変更



### 2000年12月

「ISO9001」認証取得(首都圏)

### 2001年

「ISO推進室」設置

### 2004年4月

「ISO14001」認証取得(首都圏他)

### 2004年

「人権啓発・企業倫理推進室」設置

### 2005年

「CS向上委員会」設置

### 2006年

中央区区民館4館の指定  
管理業務受託

### 2008年12月

「ISO9001/14001」認証取得  
(認証拡大:全国展開)

### 2009年

「個人情報保護方針」制定

1972

## 日本総合メンテナンス (1972-1991)

1992

2000

### 1979年

株式会社札総設立

### 1978年

株式会社オonest(現・株式会社メックスサポート)設立

### 1976年

株式会社ニッソウ設立

### 1988年

現・株式会社メックス  
テクノ西日本設立

### 1993年

メックスサービス  
株式会社設立

### 1992年

現・株式会社メックステクノ東海設立

### 1991年

現・株式会社メックステクノ中央設立

### 1996年

株式会社ゼネラル  
ボーサイ子会社化

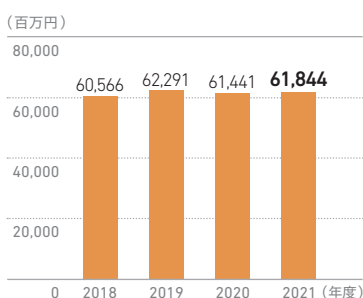
### 1998年

現・株式会社メックス  
テクノ中国設立  
現・株式会社メックス  
テクノ九州設立

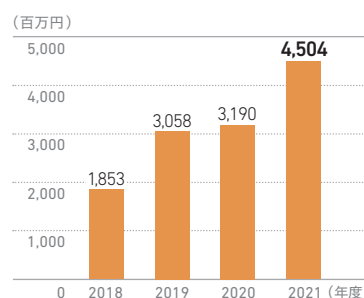
## 財務・非財務ハイライト

※日本メックス株式会社単体

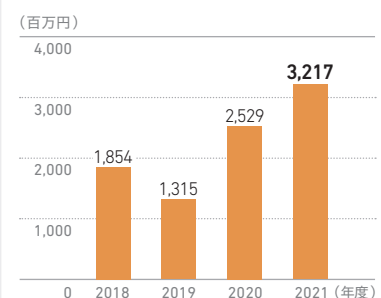
### 売上高



### 営業利益



### 当期純利益



**2014年1月**  
建物維持管理サービス  
「SUPER iMEC」導入



**2014年4月**  
「ソーラー PT」設置

**2014年7月**  
「古河太陽光発電」構築（第1号）

**2015年7月**  
「CSR委員会」設置

**2015年7月**  
「企業倫理委員会」設置

**2015年10月**  
「CSR基本方針」「行動規範および活動計画」  
等策定

**2015年12月**  
「OTC（オペレーショントレーニングセンタ）」開設

**2016年7月**  
ISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）  
「ISO/IEC27001」認証取得

「コンプライアンスの日（毎月15日）」制定

**2017年4月**  
「指定管理者事業推進 PT 準備室」設置

**2017年6月**  
「M'NET24センタ→MECCS NET24センタ」へ  
名称変更

**2017年10月**  
「人権啓発・企業倫理推進室→CSR推進室」へ名称  
変更

**2017年10月**  
「日本メックス安全の日（毎年10月16日）」制定

**2017年10月**  
「名水はだの富士見の湯」オープン



**2018年1月**  
「企業理念」「経営方針」「行動指針」制定

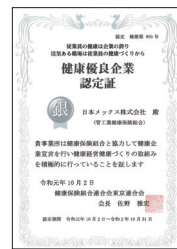
**2018年4月**  
「道の駅いちかわ」オープン



**2018年5月**  
「STC（セーフティトレーニング  
センタ）」開設



**2019年10月**  
「健康優良企業 銀」認定



**2020年1月**  
NTTファシリティーズの100%子会社化

**2020年4月**  
「DX推進委員会」設置

**2020年4月**  
「メックステクニカルカレッジ」本格開講

**2020年12月**  
「高機能ビル構築・維持管理推進室」設置

**2021年4月**  
「新・CSR戦略」策定

**2021年4月**  
「UB事業推進 PT」設置

**2021年4月**  
「ダイバーシティ推進室」設置

**2021年11月**  
LGBTQに関する取り組み指標「PRIDE指標」  
の「ゴールド」受賞

2010

2020

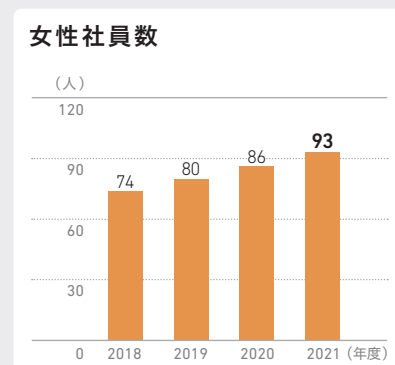
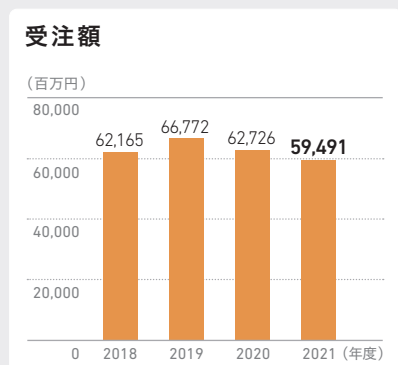
日本メックス  
(1992-)

**2015年**  
株式会社メックステクノ東北設立

**2017年**  
株式会社シンワより  
営業譲受

**2022年**  
創立50周年

「ビジョン60」  
始動



# 建物とともに 生きる

より快適で、豊かな暮らしのために、  
今日も街のどこかで、建物や施設をつくり、  
守り続けています。

日本メックスは、「建物維持管理」と「建物保  
全工事」の両方に精通したプロフェッショナル  
ならではのサービスで、お客様の資産価値の最  
大化に取り組みます。

日常的に維持管理より得られたデータを  
ベースに「調査・分析・診断」し、中長期整備計  
画やエネルギーコンサルティングを行い、その  
対策として建物保全工事を進めていくという一  
連のワンストップサービスです。

## オフィス、観光施設で

オフィスビルやホテルなどの大規模施設には、毎日、多くの  
利用者が訪れます。私たちは快適性と機能性、経済性  
と環境性を兼ね備えたビ  
ルを提案し、その改修か  
ら施設管理までを一手に  
担うことで、お客様の資  
産価値を守り続けます。



## 公共施設で

郵便局や病院、取引所などの公共機関には、様々  
な特殊機器も配置されます。強靱化、ICT化の  
要望が著しい公共インフラを  
常に稼働させ、かつ利用者  
に安心・便利を提供するため、私  
たちならではの建築・管理・  
運用ノウハウで対応します。



## 事業概要

### 維持管理

1972年に、電電公社の施設を保守するために発足して以来、  
他社に先駆けて全国の電電公社の電話局、事務棟、病院、社宅、  
研究所などの施設を守ってきました。その経験が蓄積された各種  
マニュアルを完備し、災害等の緊急時にも社員自ら適切に対処  
します。



電気設備



MECCS NET24センター

### 工事

高い技術と安全性の確保を必要とするNTTの通信用建物を  
はじめ、病院・オフィスなど各種施設の修繕・改修工事を行って  
います。特に、通信機械など重要機械が稼働している建物で、  
機械や事業活動を止めることなく行う建築・設備改修工事（居た  
まま工事）は得意とする分野です。

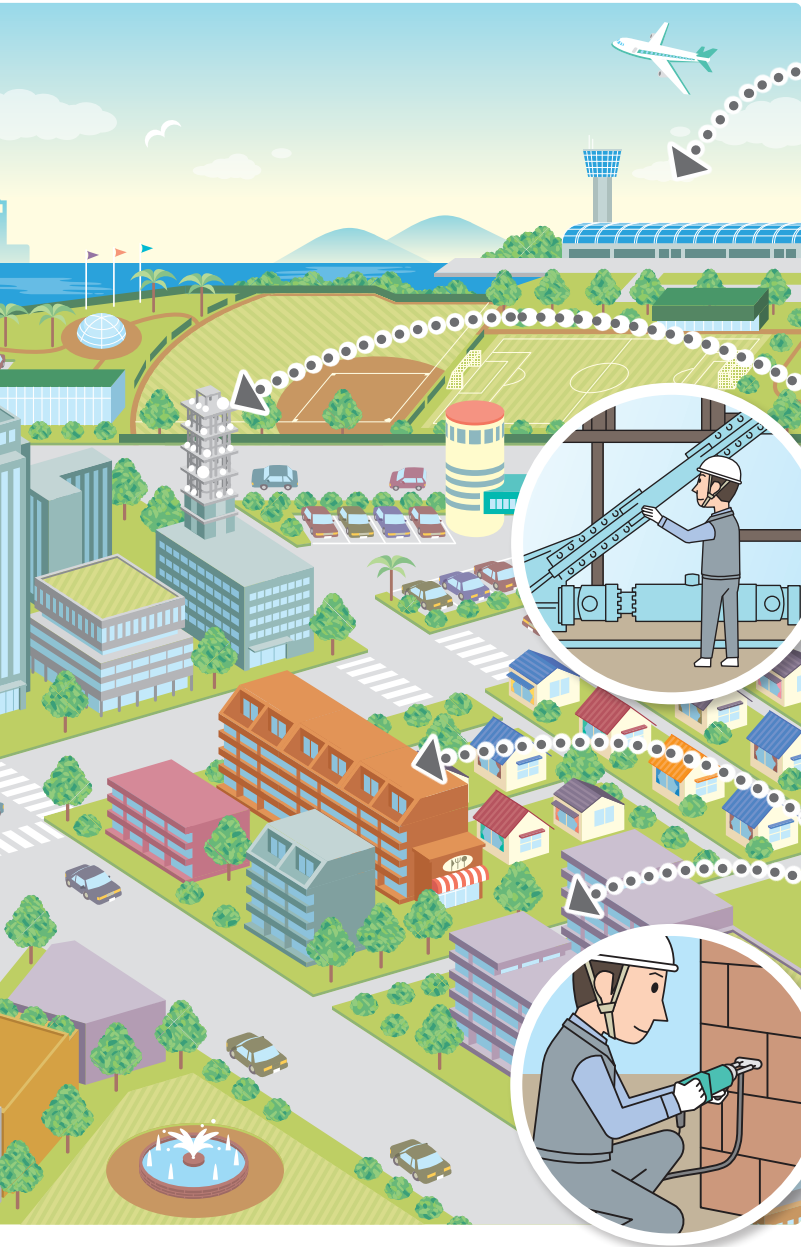


空調設備改修工事



耐震補強工事





## 空港の安全を守る

空港の運用施設は航空機の離着陸の命綱。航空機の円滑な運用やお客様をはじめ空港で働く全ての人の安全を守る大切な役割を当社は担っています。



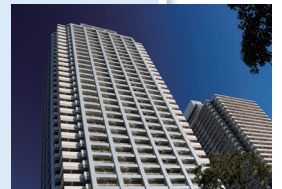
## 通信インフラで

建築業界でも難しいとされる、通信用建物やデータセンタなどの重要設備が稼働している建物での建築・設備改修工事は、NTTグループでの実績があり、当社が最も得意とする分野です。



## 集合住宅で

日々の生活の場には、常に「安心・安全・快適」が求められます。大規模施設を支える実績を基に、お客様の住環境を把握しメンテナンスを実施する私たちは、適切なタイミングでの修繕や設備更新の提案を行います。



## LCコンサル

建物のライフサイクル(LC)を考慮し必要な時期に必要な整備を行うため、建物の調査・診断による中長期整備計画を策定します。これは、外壁や屋上の外回りから、内装、空調機などの各種設備機器の更新・更改計画です。また、エネルギー管理や防火・防災・耐震などの建物健全性評価による分析・提案も行います。



外壁調査



コンサルティング

## PPP事業

各地のスポーツ施設や区民館など公共施設の管理業務を通して、地域の皆様に愛される施設運営をお手伝いします。

道の駅や日帰り温泉施設など、一部の施設では運営業務も手掛けています。



蘇我スポーツ公園



名水はだの富士見の湯

## バリューアップのワンストップサービス

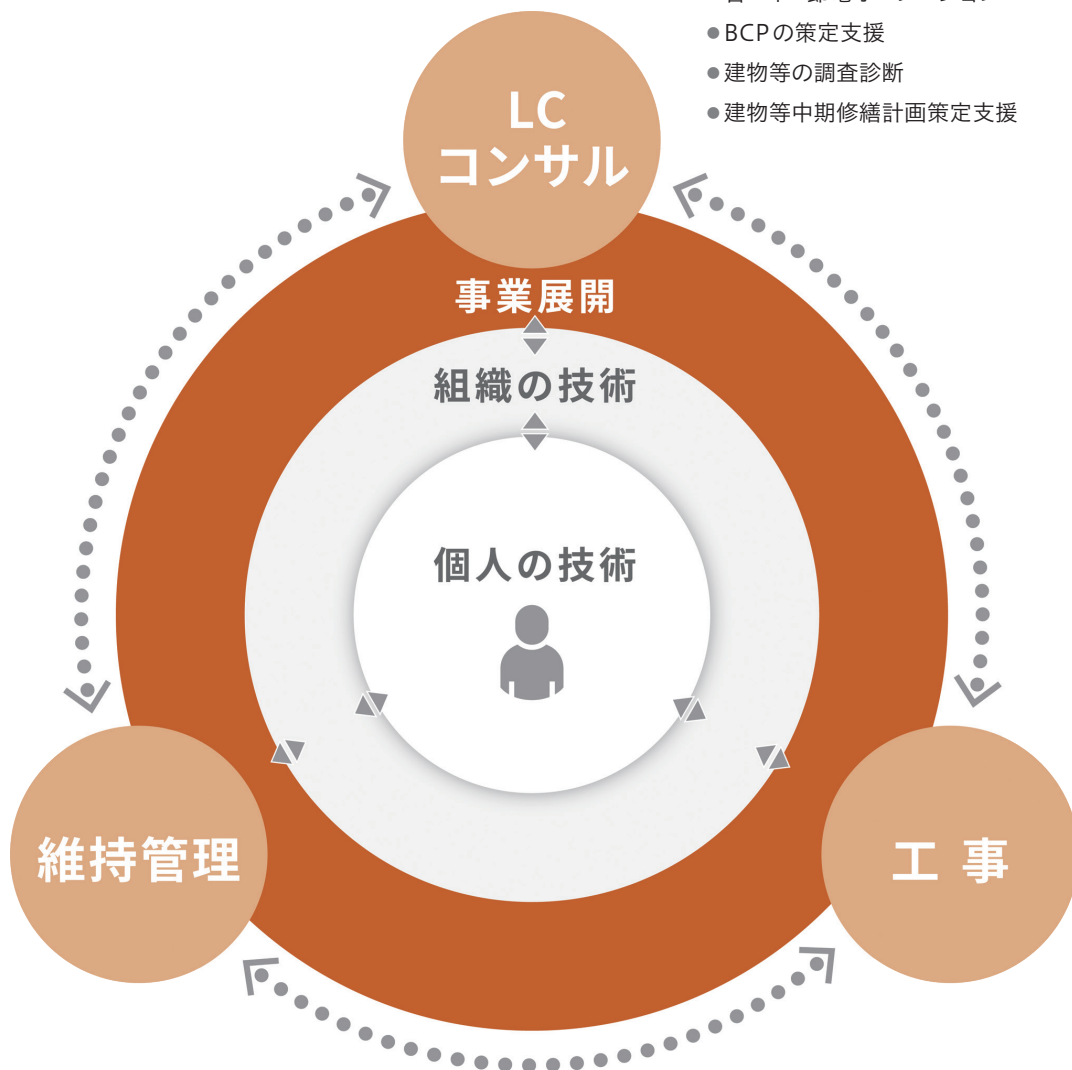
お客様建物の資産価値の継続的向上に向けて

# バリューアップループ

活用・運用

### バリューアップコンサルティング®

- 省エネ・節電オペレーション
- BCPの策定支援
- 建物等の調査診断
- 建物等中期修繕計画策定支援



### バリューアップオペレーション & メンテナンス®

- 常駐／巡回による設備等運転監視
- 正常運転を支える点検と整備
- 遠隔監視と受付／手配
- 保安警備業務
- 清掃／衛生管理業務

### バリューアップリニューアル®

- 省エネ・エコ改修
- 電気／衛生／空調設備工事の設計・施工
- ICT化対応工事の設計・施工
- 新增築設計・施工
- マンホール補強・とう道止水工事 (KS工法)

※「バリューアップオペレーション&メンテナンス」、「バリューアップコンサルティング」、「バリューアップリニューアル」は当社の登録商標です。

## 日本メックスの強み

# 建物を知り、建物を大切にし、建物をいかすことにより、 持続可能な社会の発展に貢献

### NTT通信インフラを支えてきた 高品質な維持管理

NTTグループ各社の通信ビルやデータセンタなどの「高機能ビル」を長期間にわたって支えてきた高品質な「建物維持管理」、豊富な施工実績に基づく技術力・ノウハウを活用した「建物保全工事」の2つの事業を軸に、建物の安心・安全・快適を支えています。

### 人や設備を「居たまま」実施する 保全工事技術

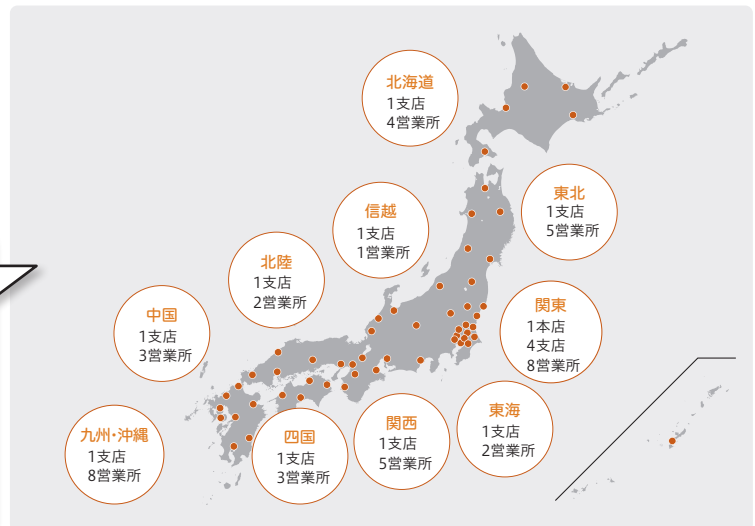
NTTグループの通信ビル、オフィスビル、社宅に対する豊富な工事経験・実績から、“人”や“設備”を「居たまま」、「動かしたまま」で、安全に確実に工事を実施する高い施工技術を持っています。

### 全国サービス拠点

全国に直営180、協力会社1,200以上のサービス拠点をもち、そのネットワークを最大限に活かし、迅速かつ細やかなサービスを提供します。

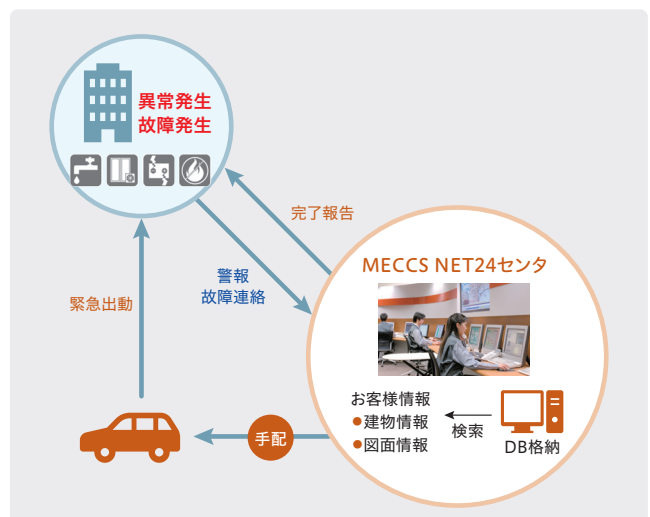
#### 全国の各エリアが連携し、 多様な建物をカバー

NTT建物：7,300カ所  
 オフィスビル：1,000カ所  
 集合住宅：2,000カ所  
 その他：60カ所  
 (病院、ホテル、空港、公共施設)



### 24時間365日対応可能な 「MECCS NET24センタ」

複数ビルに対して、遠隔でリアルタイムに設備異常を監視するサービスおよび緊急受付手配サービスを24時間365日提供し、様々なトラブルにも迅速に対応し、お客様に安心・安全をお届けしています。



## 2021年度のハイライト CSR中長期目標、年度指標の策定

日本メックスは2021年4月、NTTグループ共通の4つのCSRテーマ毎にCSR目標および優先的に貢献を目指すSDGsを設定し、コーポレートレポートにて公表しました。2021年度は、その内容の吟味を進め、中長期目標および年度指標といったKPI指標を定めました。2022年度以降、これらに即したPDCA活動を推進していきます。なお、CSRテーマ2「人と地球のコミュニケーション」に関しては、NTTグループ各社の動向も勘案し、より詳細なKPI指標群を策定しました。

CSRテーマ	CSR目標と取り組み方針 (貢献を目指すSDGs)	取り組みの柱
<p><b>CSRテーマ1</b></p> <p>人と社会の コミュニケーション</p> <p>→ P13</p>	<p><b>品質・革新の挑戦</b></p> <p>先進技術を活用し、顧客や社会の満足の高い社会インフラの実現に貢献します</p> <p></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高品質な建物ソリューションの提供</li> <li>2 DX化の積極提案の推進</li> <li>3 CSの継続的な改善</li> </ol>
<p><b>CSRテーマ2</b></p> <p>人と地球の コミュニケーション</p> <p>→ P15</p>	<p><b>環境経営の徹底</b></p> <p>自社の環境負荷軽減に取り組みます 製品、サービスの環境性能を追求します</p> <p>  </p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 環境マネジメントシステム (EMS) の徹底</li> <li>2 低・脱炭素化への取り組み</li> <li>3 低排出、循環型事業の実現</li> </ol>
<p><b>CSRテーマ3</b></p> <p>安心・安全な コミュニケーション</p> <p>→ P17</p>	<p><b>安心・安全の見守り</b></p> <p>社会インフラの24時間365日管理を通じ、社会のレジリエンスの担い手として貢献します</p> <p></p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 インフラの24時間365日管理 (サービス提供体制)</li> <li>2 自社のBCP推進</li> <li>3 情報セキュリティの徹底</li> <li>4 作業安全対策 (メックス安全作法) の実践</li> </ol>
<p><b>CSRテーマ4</b></p> <p>チームNTTの コミュニケーション</p> <p>→ P19</p>	<p><b>人財との共栄</b></p> <p>社員、パートナー従業員の人権と多様性を尊重し、活かします</p> <p> </p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ダイバーシティ &amp; インクルージョン (D&amp;I)</li> <li>2 ディセントワークと労働安全衛生</li> <li>3 公正な処遇とキャリア開発</li> </ol>



KPI指標 (全社) 等			
中長期目標 (記載ない場合、原則2030年度)		年度指標 (2022年度)	
1 品質方針の全「建物づくり」への徹底		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 先端技術・複合技術の習得・実践の取り組み</li> <li>● 技術力向上等のための取り組み</li> <li>● 街づくり、環境エネルギーをトリガーとした提案強化</li> <li>● 営業担当者業務スキル (維持管理・工事) 向上に向けた取り組み強化</li> </ul>	
2 多角的DXによる生産性向上、事業拡大の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>● DX推進委員会による施策検討および施策の水平展開</li> <li>● 現場DX推進・安全、作業効率向上等を見据えた研修導入</li> </ul>	
3 CS指数向上: ①②90%以上 ①維持管理等 (一般市場の契約継続率) ②個人CS力 (eラーニング80点以上社員比率)		<ul style="list-style-type: none"> <li>● お客様満足度向上に向けた活動推進</li> <li>● eラーニングを通じた個人CS力の強化</li> </ul>	
(1) 環境リスクの低減 (ISOの推進)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 内部監査員</li> <li>● 混合廃棄物分別量</li> <li>● 騒音等クレーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ISO内部監査員の充実</li> <li>● 工事混合廃棄物分別量: 90%以上</li> <li>● 工事現場の騒音等クレーム: 0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ISO内部監査員研修修了者: 60名</li> <li>● 工事混合廃棄物分別量: 90%以上</li> <li>● 工事現場の騒音等クレーム: 0件</li> </ul>
(2) エコ検定取得率	エコ検定取得率	エコ検定取得率: 80%以上	取得率80%以上
(1) 温室効果ガス (GHG) 排出量の削減	CO <sub>2</sub> 等排出量	2040年度カーボンニュートラル (排出量実質ゼロ)	温室効果ガス排出対前年度比減
(2) 環境負荷の削減	① 再生可能エネルギー利用率	2030年度再生可能エネルギー利用率100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自社ビルの再エネ化100% (継続)</li> <li>● 全テナント入居組織の再エネルギー証書購入 (継続)</li> </ul>
	② 社用車EV化	国内一般車両のEV化率: 2030年度100%	EV車1台以上試験導入 (PHV含む)
(3) SDGs教育の継続実施	年1回以上実施	年1回以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年1回以上</li> <li>● 受講者率100%</li> </ul>
(1) 廃棄物削減	廃棄物リサイクル率	廃棄物のリサイクル率: 2030年度99%以上	廃棄物リサイクル率: 対前年度比増
(2) 紙使用量の削減	事務用紙使用量	コピー用紙使用量管理の徹底: 対前年度使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コピー用紙の組織別管理実施</li> <li>● グリーン適合用紙購入: 100%</li> </ul>
1 MECCS NET24センタの対応迅速化 入電後の手配30分以内実施率: 90%以上		● 入電後の処理の効率化推進	
2 災害訓練の継続実施 訓練回数: 1回以上/年		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害訓練の継続実施</li> <li>● 自社BCPマニュアル整備</li> </ul>	
3 お客様から信頼される情報セキュリティの確立 ①情報セキュリティインシデント発生件数: 全社0件 ②ISMS定着度の評価: レベル4以上		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全社員情報セキュリティ研修実施 (4回/年)</li> <li>● 情報セキュリティリスクアセスメントの実施</li> <li>● 全社目標/施策、部門目標/施策の設定 (7月)</li> <li>● ISMS実施計画の運用と振り返り (月次点検、四半期毎の評価)</li> </ul>	
4 安全手順の徹底 ①6+9基本動作定着率: 95%以上 ②KY活動定着率: 95%以上		● 全職場における基本動作再確認とKY励行活動推進	
1 全員参加でのD&I体制の実現 ①女性マネージャー比率: 1.2%以上 (2025年度) ②女性従業員比率 (2025年度): 新卒: 15%以上、全社員: 6.5%以上 ③障がい者雇用率: 2.31% (実雇用率) ④認定取得: PRIDE指標ゴールド受賞継続、くるみん認定取得 (2023年度) ⑤コンプライアンス研修受講率: 全従業員100%		<ul style="list-style-type: none"> <li>①女性リーダー候補者への育成施策検討および実施に向けた準備</li> <li>②新卒採用時の女性比率: 15%以上</li> <li>③障がい者雇用 (法定雇用率2.3%確保) の推進</li> <li>④次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画目標達成への取り組み</li> <li>⑤「ダイバーシティ」をテーマとした研修継続 (コンプライアンス研修)</li> </ul>	
2 労働安全衛生の徹底と、健康経営の推進 ①労災発生件数: 全社0件 ②4週8休 (工事部門) ③健康診断受診率: 全社員100% ④特定保健指導完了率: 対象者25%以上 ⑤総労働時間削減: 対前年度比減		<ul style="list-style-type: none"> <li>①全国安全衛生大会の継続実施</li> <li>②休日取得データ (平均日数) の支店等へのフィードバックの継続</li> <li>③健康診断受診対象者への勧奨徹底</li> <li>④特定保健指導対象者への勧奨徹底および勧奨体制見直し検討</li> <li>⑤働き方改革 (時間外労働削減、年休取得等) の取り組み推進</li> </ul>	
3 キャリア研修の全社員への提供 研修受講率: 対前年度比増		● 社員自らのキャリア開発 (M-CDP) 推進に向けた研修の実施	

CSRテーマ 1 人と社会のコミュニケーション

## 品質・革新の挑戦



### 新たな挑戦に向けた、日本メックスの約束

## 先進技術を活用し、顧客や社会の満足の高い社会インフラの実現に貢献します

私たち日本メックスは、「建物とともに生きる」を合言葉に、日本各地で、快適で、豊かな暮らしを実現する建物や施設を提案し続けます。たゆまぬ進化に向け、品質方針を全ての「建物づくり」に徹底する一方、DXを多角的に推進し、利用者の快適性や生産性に貢献していきます。またこれらを通じ、高いお客様満足を実現し、事業の継続的な成長を実現することを目指し、私たち一人ひとりの成長に意欲的に挑戦していきます。

## OUR CSR ACTION

### 取り組みの柱と優先的に貢献を目指すSDGs

- 1 高品質な建物ソリューションの提供
- 2 DX化の積極提案の推進
- 3 CSの継続的な改善



Target 9.1

## 活動ハイライト CASE 01

## 地域発展に貢献する、先進的なインフラづくり

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう

## SDG9 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱（レジリエント）な社会インフラを構築し、世界中の誰もが享受できる持続可能な産業発展を実現する。その確かな実践に向け、全世界で継続的なイノベーションを推進することを、SDG9は目指しています。特に全ての人々がアクセスできる質の高いインフラを実現するためのイノベーションは、大きな課題であり、日本メックスのような建物づくりに従事する企業の貢献に高い期待が寄せられています。

## 成果事例

## 生活インフラのDX化

## — 「道の駅いちかわ」にコンテナ型スマートストアをオープン

日本メックスは、入店から商品選び、決済までをスマートフォンで完結する店舗として、千葉県市川市の「道の駅いちかわ」敷地内にコンテナ型スマートストア「いちかわGo」を2022年2月にオープンしました。なおコンテナ店舗の設計、施工は株式会社ピースノート、スマートストア運営に必要なICTサービス、AIを活用した需要予測等のサービスは東日本電信電話株式会社と協働しています。

近年、「道の駅」は、地方創生および観光拠点として重要な役割を担っています。一方で、キャッシュレス化の推進や適切な需要予測の実現を通じた廃棄ロス節減、夜間営業と担い手不足対応の両立などが急務であり、加えて新型コロナウイルス感染症を踏まえた店舗オペレーションへの必要性も高まっています。これらを受け誕生した同店舗は、無人でも24時間営業可能な地域密着型のスマートストアを実現。利便性向上と効率的な店舗運営を図るものです。

「コンテナ型」店舗は環境配慮ならびに災害時へのレジリエンスにも優れており、いちかわGo内で販売している商品を被災者への非常食として無料配布が可能です。日本メックスは今後も、各地の道の駅への展開を模索し、地元商材の販売機会創出を通じた地域経済への貢献を、ニューノーマルに即した形で実現していきます。

IMPACT  
ON SDGs

## 日本メックスの目指す社会インパクト

- > 地域インフラの革新
- > 地方産業振興への貢献

CSRテーマ2 人と地球のコミュニケーション

## 環境経営の徹底

新たな挑戦に向けた、日本メックスの約束

### 自社の環境負荷軽減に取り組みます 製品、サービスの環境性能を追求します

私たち日本メックスは、建物・設備に関わるプロ集団として、地球環境への責任を果たします。特にカーボンニュートラル社会の実現に向けては、NTTグループの一員として自社および製品、サービスの低炭素化さらには脱炭素化を加速します。また来るべきサーキュラーエコノミー（循環型社会）に向け、低排出・循環型事業を推進し、3Rを全社で徹底していきます。これらの確実な執行に向け、環境監査および環境教育体制の整備を推進します。

## OUR CSR ACTION

取り組みの柱と優先的に貢献を目指すSDGs

- 1 環境マネジメントシステム(EMS)の徹底
- 2 低・脱炭素化への取り組み
- 3 低排出、循環型事業の実現



Target 7.2, 7.3



Target 12.2, 12.4, 12.5, 12.6



Target 13.1



## 活動ハイライト CASE 02

## 事業を通じた、社会の低炭素化の促進



## SDG13 気候変動に具体的な対策を

SDG13が早急な実現を目指す気候変動への適応と緩和は、世界共通の重要課題と認識されて久しいものの、依然明確な改善がみられていません。日本国内に目を向けても、2021年も異常気象や激甚な自然災害が記録され、各地で深刻な被害が発生しています。グローバルかつ早急な対応が望まれる中、日本政府も取り組みを強化しており、企業には一層具体的な目標を伴った行動が期待されています。

## 成果事例

## 日本メックスの低炭素化の加速

## — NTTグループの一員として、中期的取り組みを推進

環境問題への確実な対応を目指し、NTTグループは様々な取り組みを展開しています。中でも2021年9月に策定された新環境エネルギービジョン「NTT Green Innovation toward 2040」では、主要施策の一つとして「2040年までにカーボンニュートラルを実現」を掲げ、その基礎として事業活動の低炭素化を強く推進しています。

自社ならびに製品、サービスの低炭素化を着実に実現するため、NTTグループ各社には、CO<sub>2</sub>排出量の把握と適切な管理が求められています。日本メックスも現在、環境マネジメントシステムの整備・強化を図っています。具体的には2022年度よりScope1およびScope2の計測を本社および各地の拠点で開始しました。同時にCSR中長期目標およびKPIの主要要素として「温室効果ガス（GHG）排出量の削減」を掲げ、自社ビルへの再生可能エネルギー切り替え、その他全入居ビルの非化石証書購入により、再生可能

エネルギー導入を開始しました。また、本社ビルの全照明をLED照明器具に取り替え、北陸支店ビルを含む自社ビルのLED化を完了するなど、環境負荷の低減を本格化しました。これらを皮切りに、日本メックスは、2040年度カーボンニュートラルの実現を中長期目標に掲げ、自社ならびに建物づくりの低炭素化を積極的に実践していきます。

NTTグループ環境エネルギービジョン  
「NTT Green Innovation toward 2040」(2021年9月策定)



URL <https://group.ntt.jp/environment/management/vision/>

IMPACT  
ON SDGs

## 日本メックスの目指す社会インパクト

- > 自社操業の低炭素化
- > グループ一体となった環境経営の推進

CSRテーマ3 安心・安全なコミュニケーション

## 安心・安全の見守り



### 新たな挑戦に向けた、日本メックスの約束

## 社会インフラの24時間365日管理を通じ、 社会のレジリエンスの担い手として貢献します

私たち日本メックスは、社会・経済を支える基礎インフラの維持と保守を、日々担っています。この使命を確実に果たすため、MECCS NET24センタを代表とする各種保守管理体制を迅速かつ不断に提供する体制を強化し続けます。自社操業の強固なBCPは不可欠といえ、有事への備えと作業現場の安全手順の徹底を図り続けます。またICT社会の浸透を踏まえ、社員への情報セキュリティ教育を徹底し、インシデント防止を徹底します。

## OUR CSR ACTION

### 取り組みの柱と優先的に貢献を目指すSDGs

- 1 インフラの24時間365日管理 (サービス提供体制)
- 2 自社のBCP推進
- 3 情報セキュリティの徹底
- 4 作業安全対策 (メックス安全作法) の実践



Target 11.3, 11.b

## 活動ハイライト CASE 03

## 社会の持続可能性と強靭性を支える事業

11 住み続けられる  
まちづくりを



### SDG11 住み続けられるまちづくりを

全ての人々が安全で快適な暮らしを送れる、強靭（レジリエント）で先進的な都市・居住環境を世界に整備し続けることは、途上国だけでなく先進国にも共通する大きな課題となっています。SDG11が目指すものは、利便性と持続可能性に配慮した公共インフラの継続的な刷新に他ならず、社会がICT化を加速する現在、都市を24時間365日見守り、支えることの重要性が高まり続けています。

### 成果事例

## BCP体制の継続的な強化と徹底

### — 全国安全衛生大会の定期的な実施

安心・安全な環境での業務遂行は、CSRテーマ4の取り組みの柱の「労働安全衛生」のみならず、CSRテーマ3の取り組みの柱の「自社のBCP」の観点からも、極めて重要です。日本メックスでは、このような多面的な問題意識に基づき、毎年「全国安全衛生大会」を開催しています。大会では、全国各支店の支店長、工事部長、環境サービス部長、および本社関係部長等と協力会社の方々も含め、当該年度の安全に関する取り組み方針の確認を実施しています。

2021年度は、新型コロナウイルス感染状況を考慮してWEB形式で4月に開催しました。日本メックスグループは約300名、協力会社は約60社の参加者で、前年度の様々な取り組み結果の振り返りと、それらを踏まえた安全に関する重点取組施策の確認を行うとともに、「事故ゼロ」を目標に取り組むことを確認しています。具体的な取り組み

としては、社長からの安全に関するメッセージ発信など、安心・安全で働きやすい、魅力ある職場環境の構築を会社全体で目指しています。



IMPACT  
ON SDGs

### 日本メックスの目指す社会インパクト

- > 自社のBCPの継続強化
- > パートナーと協働した、安心・安全の推進

CSRテーマ4 チームNTTのコミュニケーション

## 人財との共栄



※今年度導入予定の新ユニホームを着用しています。

### 新たな挑戦に向けた、日本メックスの約束

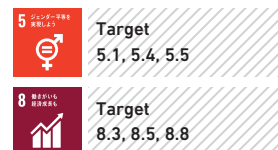
## 社員、パートナー従業員の人権と多様性を尊重し、活かします

私たち日本メックスは、1,500人を超える社員で、日本全国に展開しています。公正かつ安全、個性を活かす職場慣行を全ての「共に働く人々」に提供する責任は重く、かつ人財との共栄関係の基礎といえます。この観点に立ち、個性を尊重するダイバーシティ&インクルージョン(D&I)経営の推進と、安全・健康かつ権利を尊重するディーセントワークの徹底を図りつつ、社員の能力を活かす適切な教育・処遇を全社員に提供していきます。

## OUR CSR ACTION

### 取り組みの柱と優先的に貢献を目指すSDGs

- 1 ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)
- 2 ディーセントワークと労働安全衛生
- 3 公正な処遇とキャリア開発



## 活動ハイライト CASE 04

## 生き生きとした職場環境の実現

5 ジェンダー平等を  
実現しよう

## SDG5 ジェンダー平等を実現しよう

性別や身体的特徴はもちろん、文化や価値観といった多様性を尊重しあい、一人ひとりの個性や才能を活かす社会を作るといふ、SDG5が目指す「ダイバーシティ&インクルージョン (D&I)」の考え方は、今や世界共通の規範意識となっています。特に企業には、その実現に向け、多様な価値観を認め合う企業風土の醸成と、多様な働き方を可能とする各種施策の整備が強く求められており、全社員を巻き込んだ活動も活発化しています。

## 成果事例

## 全員参加で推進する、D&amp;I活動

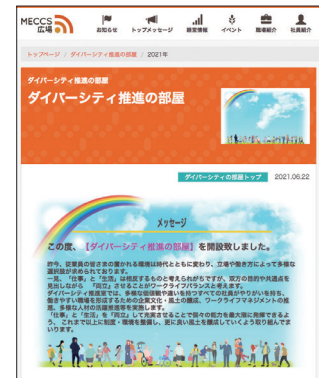
## —ダイバーシティ推進室の設置

日本メックスは2021年4月、本社人事企画部内に「ダイバーシティ推進室」を新たに設置しました。同室は全社横断のD&I活動の統括役として、「ダイバーシティを尊重する企業文化・風土の醸成」「ワークライフマネジメントの推進」「多様な人財の活躍促進」の3つを取り組みの柱に据え、活動を加速しています。

2021年度は、まず風土醸成に向け、社内イントラに「ダイバーシティ」ページを作成し、社員周知を開始する一方、研修メニューの整備に着手し、全社員向けeラーニングおよび階層別研修を実施しました。また各種施策の整備として、時短勤務制度や復職制度の改定・導入を実施する一方、次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法の行動計画の見直しなども開始しています。

これらの取り組みの結果、2021年度は、障がい者雇用の法定雇用率 (2.3%) を達成すると同時に、任意団体

work with Prideが策定した、企業・団体等におけるLGBTQ等性的マイノリティに関する取り組みの評価指標「PRIDE指標2021」において、最高位「ゴールド」を受賞しました。日本メックスは引き続き、D&I推進の取り組みを加速していきます。

IMPACT  
ON SDGs

## 日本メックスの目指す社会インパクト

- > D&I 尊重の、全員での実践
- > D&I を推進する仕組みの提供

# 会社情報

## 会社概要

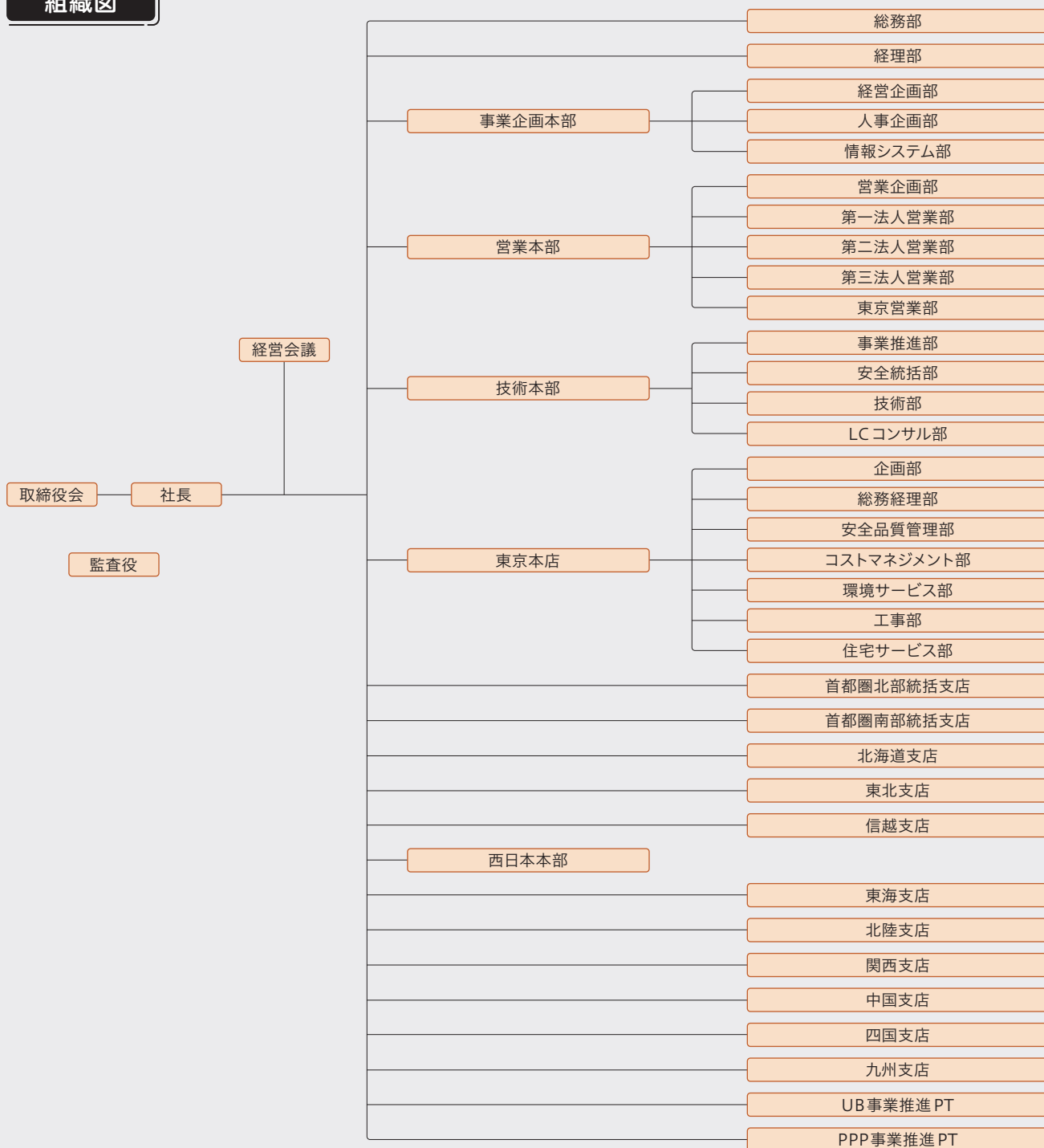
商号 日本メックス株式会社  
 所在地 〒104-0042  
 東京都中央区入船三丁目6番3号  
 代表者 代表取締役社長 白井 賢  
 設立 1972年4月25日  
 資本金 1億2,000万円  
 社員数 1,538名 (2022年3月31日現在)

## 役員一覧

(2022年7月1日現在)

代表取締役社長	白井 賢	取締役	栗林 博之	若杉 薫
専務取締役	武田 和弘		野田 省吾	立川 雅司
常務取締役	大田 保之		三浦 勝	末永 裕章
	辻井 泰人		佐々木 均	大熊 隆行
			渡 芳幸	小牟田 保
		監査役	井手口 修一	
			石塚 慎二	

## 組織図



## 許認可

## ● 建設業

## 特定建設業

土木工事業／建築工事業／大工工事業／とび・土工工事業／石工事業／屋根工事業／電気工事業／管工事業／タイル・れんが・ブロック工事業／鋼構造物工事業／舗装工事業／塗装工事業／防水工事業／内装仕上工事業／造園工事業／建具工事業／解体工事業

## 一般建設業

電気通信工事業／消防施設工事業

- 1級建築士事務所
- 警備業
- マンション管理業
- 宅地建物取引業
- 労働者派遣事業
- 登録電気工事業
- 消防設備業
- 屋外広告業
- 建築物環境衛生総合管理業
- 建築物飲料水貯水槽清掃業
- 酒類販売業

## 保有資格

(2022年3月31日現在)

- 電気主任技術者(2種・3種)
- 建築物環境衛生管理技術者
- 空気環境測定実施者
- 危険物取扱者(甲種・乙種)
- 1級ボイラー技士
- 1級ビル設備管理技能士
- 浄化槽管理士
- 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者
- 酸素欠乏危険作業主任者
- 警備員指導教育責任者
- エネルギー管理士
- 水質管理責任者
- 高圧ガス製造保安責任者
- 一般毒物劇物取扱者
- 1級ビルクリーニング技能士
- 消防設備士(甲種・乙種)
- 消防設備点検資格者(1種・2種)
- 防火管理者
- 防火設備検査員
- 建設業経理士  
(建設業経理事務士含む)
- マンション管理士
- 宅地建物取引士
- 管理業務主任者
- 認定ファシリティマネジャー
- 特別管理産業廃棄物管理責任者
- 衛生管理者
- 1級建築士
- 2級建築士
- 1級建築施工管理技士
- 2級建築施工管理技士
- 2級建設機械施工管理技士
- 2級建設企画施工管理技士
- 構造設計1級建築士
- 設備設計1級建築士
- 建設設備士
- 建築積算士
- インテリアプランナー
- 建築仕上診断技術者  
[ビルディングドクター(非構造)]
- 特定建築物調査員
- 1級土木施工管理技士
- 2級土木施工管理技士
- 1級造園施工管理技士
- 2級造園施工管理技士
- 1級電気工事施工管理技士
- 2級電気工事施工管理技士
- 電気工事士(1種・2種)
- 1級管工事施工管理技士
- 2級管工事施工管理技士
- 浄化槽設備士
- 建築設備検査員
- 給水装置工事主任技術者
- 排水設備工事責任技術者
- 建築・設備総合管理士  
[ビルライフサイクルマネジャー]
- 建築設備診断技術者  
[ビルディングドクター(建築設備)]
- 1級電気通信工事施工管理技士
- 2級電気通信工事施工管理技士
- 電気通信主任技術者

延べ人数：6,977名

## グループ会社

株式会社札幌	〒060-0004	札幌市中央区北4条西16丁目1 テルウェル札幌第1ビル	011-676-7800
株式会社ニッソウ	〒300-2633	茨城県つくば市遠東916-4	029-848-0002
株式会社ゼネラルポーサイ	〒104-0042	東京都中央区入船3-6-3	03-5542-0481
株式会社メックスサポート	〒104-0045	東京都中央区築地1-9-2 イセツネビル	03-6264-3972
メックスサービス株式会社	〒104-0042	東京都中央区入船3-6-3	03-5541-5731
株式会社メックステクノ中央	〒104-0042	東京都中央区入船3-6-3	03-5244-9900
株式会社メックステクノ東北	〒983-0852	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-3-10 仙台TBビル	022-290-6841
株式会社メックステクノ東海	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄3-8-8 名古屋平和ビル	052-269-1525
株式会社メックステクノ西日本	〒541-0041	大阪府大阪市中央区北浜1-8-16 大阪証券取引所ビル	06-4707-2010
株式会社メックステクノ中国	〒730-0004	広島県広島市中区東白鳥町14-15 NTTクレド白鳥ビル	082-212-2212
株式会社メックステクノ九州	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多借成ビル	092-432-3211

〒104-0042  
東京都中央区入船三丁目6番3号

お問い合わせ  
総務部 CSR推進室  
TEL：03-5541-5521  
FAX：03-5541-5539

#### 編集方針

日本メックス株式会社では、このたび、当社の事業やCSRに関する考え方および取り組みについて、その全体像を読者の皆様に対し、より広くご理解いただくことを目指して、『日本メックス株式会社コーポレートレポート2022』を発行しました。

本レポートでは、当社の事業の特長・強みや、当社が事業活動を通じて社会や地球環境に対して果たしている役割や取り組みをご報告しています。

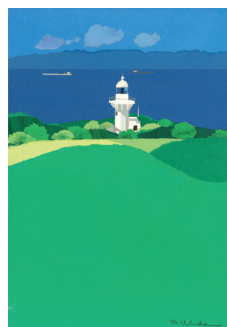
#### 報告対象期間

原則として、2021年4月から2022年3月まで。  
ただし、一部情報は直近のものも含まれます。

#### 対象範囲

日本メックス株式会社を中心に、一部グループ会社を含みます。

#### 表紙の絵 「みどりの水道」



描かれているのは作者のふるさとにある観音崎灯台で、白い灯台が緑と青の世界に在る、心に刻まれた美しい風景です。

「灯台」は船が安全に進むための道しるべ。このコーポレートレポートが、創立50周年を迎え新たな航海へ向かう当社の行く先を照らす道しるべとなるよう想いを込めて、表紙に選びました。

はり絵画家：内田 正泰氏 うちだ まさやす

1922年、神奈川県横須賀市生まれ。  
横浜高等工業学校（現・横浜国立大学）建築科を卒業後、食品メーカー PR 課勤務を経て、1956年、アド・アートデザイン研究所を設立。以後、はり絵の個展開催、カレンダーのデザイン、横浜の地区センターやスポーツセンターなどの陶壁画も数多く担当し、鎌倉市長谷に常設ギャラリー有り。2019年9月12日永眠。享年97歳。